

どうして今、合併が論議されているの?

■独自の地域づくりの推進

○「住民に身近な行政は住民に身近な市町村で」という考え方のもと、「地方分権」が進んでいます。

○これからは、市町村が自らの考えで責任をもって個性豊かなまちづくりを推進することができます。そのためには、市町村の行政体制を一層強化していく必要があるといわれています。

■生活圏の広がり

○交通網や情報通信手段の発達などにより、私たちの生活圏は住んでいる市町村の枠を越えて広がっています。

○こうした時代の流れに対応していくためにも、今後はさらに広い視野でのまちづくりが必要とされています。

■進む少子・高齢化社会に対応

○全国的に0歳から14歳までの年少人口の割合は年々減少し、65歳以上の高齢者人口は、急速に増加しています。

○特に、介護・福祉や教育といった専門分野のサービスの維持・向上を目指すためには、財政力の強化や人材の確保など、さまざまな課題があり、現在の市町村単位では適切な対応が難しい状況になるといわれています。

■多様化するニーズに対応

○高度情報化や国際化などによる新たな課題や福祉、環境対策など多様化する課題について、専任の組織を置くなどして的確に対応することが求められています。

○しかし、小規模の市町村では、これらに対して単独で対応することが困難になっているといわれています。

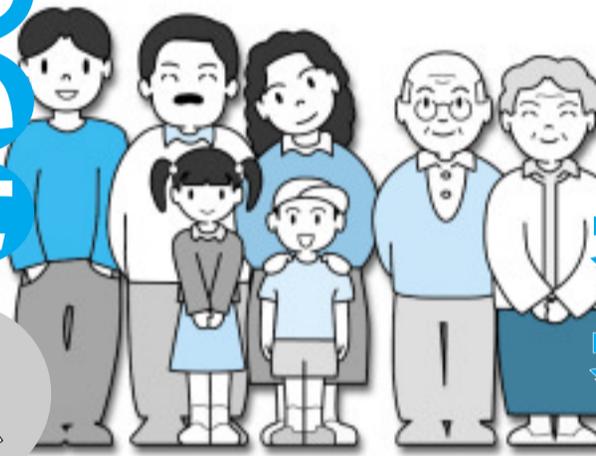
■国・地方の厳しい財政状況

○国と地方を合わせた借金の合計は、平成14年度末には約693兆円になると見込まれ、非常に厳しい財政状況です。一般的に小規模市町村ほど財政基盤は弱くなっています。

○このため、ある程度規模を大きくして財政基盤を強化し、効率化を図ることによって行政サービスを維持・向上することが必要であるといわれています。

市町村合併について

PART 1



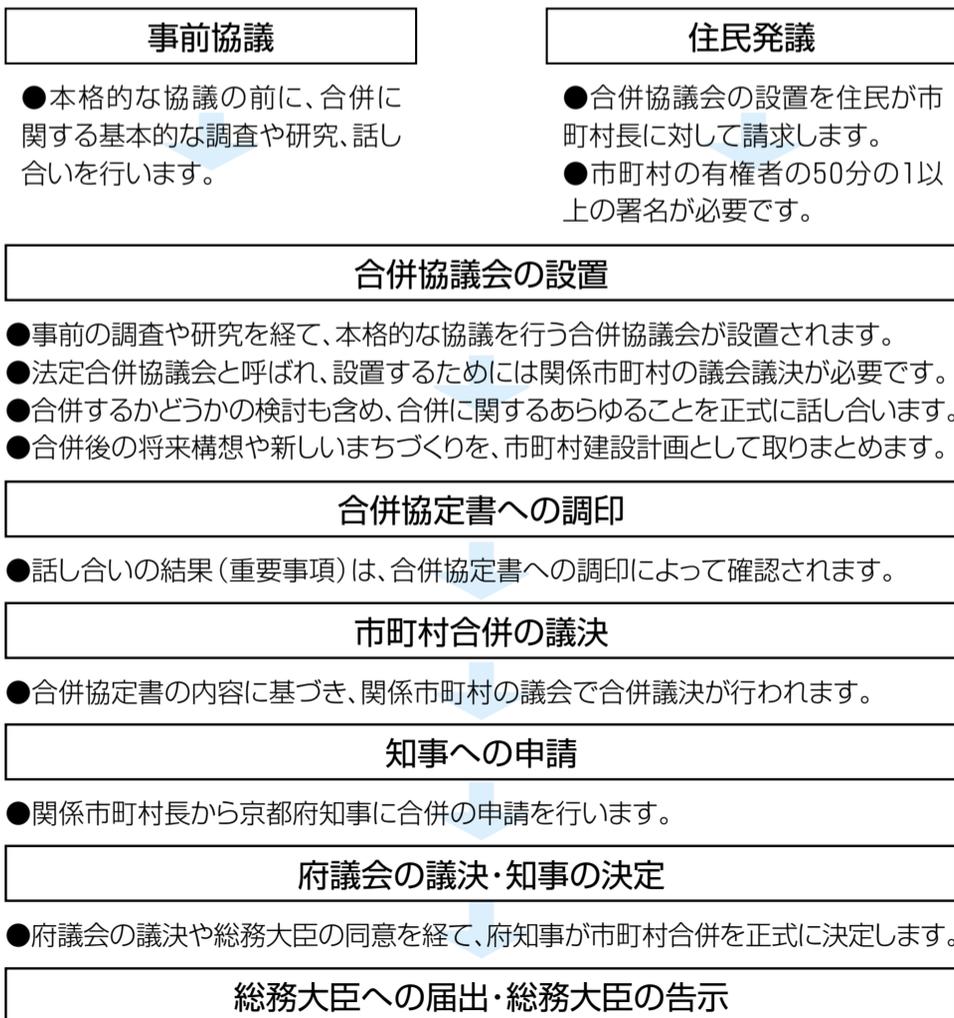
みんなで考えよう!未来のまちづくり

最近、「市町村合併」が話題となり、新聞、テレビなどでも取り上げられています。今、どうして「市町村合併」なのでしょうか。

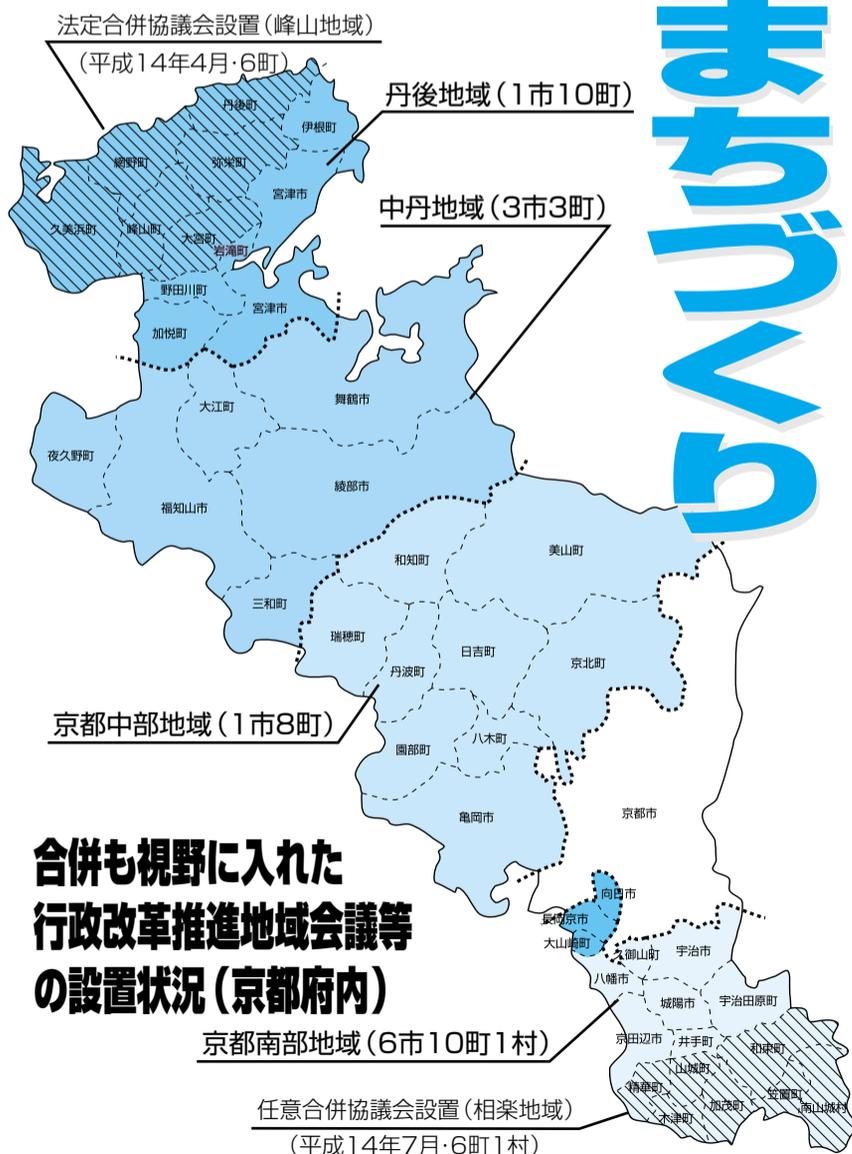
私たちは、この問題を考えるのに当たって、未来のまちづくりをどうするのか、市民が安心して暮らせる機能をどう維持していくのかなどについて、議論を尽くす必要があります。そこで、今回からシリーズで、市町村合併について、市民の皆さんに考えていただくための情報を提供していきます。

市町村合併はどうやって行われるの?

市町村合併のきっかけは、市町村や議会から提案する場合と、住民のみなさんからの発議(50分の1以上の署名)による場合があります。



新市の発足



合併も視野に入れた行政改革推進地域会議等の設置状況(京都府内)

次回PART2(10月1日発行予定)では、市町村合併のメリット・デメリット、市町村数の変遷、市町村合併特例法などを掲載する予定です。